

平成23年3月22日

文学研究科 PD が石橋湛山新人賞佳作を受賞

大学院文学研究科 PD の濱井潤也氏が石橋湛山新人賞佳作を受賞することになりました。

この新人賞は、財団法人石橋湛山記念財団が、政治哲学や政治学の若手研究者の研究論文を対象に、石橋湛山の思想に関わる優秀な研究論文を表彰するものです。

対象となった濱井氏の論文は「マイケルウォルツァーの正戦論における道徳性についてーウォルツァーの政治哲学における情念との関係」（『ぷらくしす』通巻第11号、広島大学応用倫理学プロジェクト研究センター、平成22年3月1日発行）です。

授賞式は平成23年3月23日（水）11時～13時に東京都中央区日本橋本石町1-2-1 東洋経済ビル8階セミナー室にて行われる予定です。

【お問い合わせ先】

大学院文学研究科
運営支援グループ 矢野 久美
TEL:082-424-6604、FAX:082-424-0315

石橋湛山新人賞

※財団法人石橋湛山記念財団のHPより抜粋

石橋湛山新人賞

第2回受賞：水口 由美 氏

第1回受賞：伊藤 真利子 氏

平成20年度より、主に人文社会科学系大学院生による、石橋湛山の思想(自由主義・民主主義・国際平和主義)に直接間接的に関わる優秀な研究論文を表彰する「石橋湛山新人賞」を新たに創設いたしました。本賞は、我が国が世界的に見て必ずしも最先端にあるとはみられない当該分野における人材育成と研究の深化を支援することを目的としております。

選考過程

- ①対象分野：政治・経済・社会・文化・宗教等の人文社会科学系領域。
- ②対象者：原則として修士・博士課程の大学院生。
- ③対象論文：過去一年間に大学紀要など機関誌・学会誌等に発表された論文。
- ④選考過程：全国の主要大学および主要学会等より推薦された論文に対して、若手官僚・編集者・金融マンなどにより、第一次のスクリーニング（第一次選考）を行います。そこで推薦された論文を、最終選考委員による協議により、最優秀論文と佳作二編を決定します。
- ⑤最終選考委員：「石橋湛山賞」の受賞者である増田弘氏(東洋英和女学院大学副学長)、藤原帰一氏(東京大学大学院教授)、小菅信子氏(山梨学院大学教授)、原田泰氏(大和総研常務理事・チーフエコノミスト)と石橋省三・当財団理事長の五名です。